

支えあうコミュニティ 持続可能な未来

内山さと子

武蔵野市議会議員

活動報告 2023年 春号

〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A9-506 TEL080-3758-1057

Email satochi@y8.dion.ne.jp <http://satoko-uchiyama.mond.jp>



市民の傷んだ 心 体 暮らしの回復に全力を

武蔵野市令和5年度予算が賛成多数（反対2、退席2）で可決

人類史に残るパンデミックとその対策に翻弄された3年間、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻から1年以上、私たちはあたり前に思えた何気ない日々の暮らしがいかにかけがえのないものか、心に刻むこととなりました。

予算額726億2千2百万・一人あたり49万円

令和5年度は、コロナ禍でダメージを受けた心と体、暮らしの回復を図る公共のセーフティネットの構築と、物価高騰の中で学校や公共施設の着実な更新・改修が大きな課題です。

特に、高齢者のデイサービスや食の事業が激減し、QOL（生活の質）の低下やフレイル（虚弱状態）が心配です。在宅介護・地域包括支援センターや民間事業者と連携し、市民の心と体の回復に全力を注ぐよう求めました。また、困窮者支援の現場ではピークは過ぎたとはいえ、依然として新規相談件数が例年の倍近くあり、就労をはじめ伴走支援体制の強化が必要です。

駅周辺の交通環境とまちの将来像の検討

今後、三鷹駅・吉祥寺駅のバス停や錯綜する交通問題の解決に向け検討を進めるには、市民や事業者の参加や協議を丁寧に行う必要があります。また、予算審査で、東京都と協力し吉祥寺エリアをモデルに駐車場地域ルールを検討していることがわかりました。人中心の歩いて楽しい街の魅力が高まるよう期待されます。

攻撃的言動や不寛容な空気を感じることも多くなりました。互いを理解し認め合う多様性を尊重する社会の実現に向けて、多文化共生、平和事業を一体的に進めるよう求めました。

今年度から子どもの権利条例が施行されます。子どもの意見に耳を傾け、その曇りのない眼に何が映っているのかを知ることが私たちの学びであり、まちの元気につながります。

見通しが困難な社会状況にあっても、武蔵野市の自治の力で、ひとり一人の人權が尊重され、自分らしく暮らし続けられる平和なまちにしていきたいと強く思います。



保健センター（吉祥寺北町）大規模改修にあたり、北側市有地に増築し、母子保健と子ども子育て家庭を支援する事業を総合的に行う（設計費 8116万円）。高齢者総合センター改修と障害者福祉センター改築に向けた設計も予算化され、計画的に、公共施設の改築・改修工事が行われる予定。